



16:30



本講座は土木学会認定
CPDプログラムです

暮らしに役立つ防災研究!

台風、高潮、洪水、災害情報——防災研究は、私たちの暮らしを守る力になります。本講座では、海・川・情報・地域をテーマに、京都大学防災研究所の最新研究をわかりやすく紹介します。防災研究が私たちの暮らしにどのように役立つのでしょうか？最前線で活躍する研究者とともに考えます。



海から考える、これからの防災

しむら ともや
志村 智也

気候変動適応研究センター 准教授

気候変動による海面上昇が見込まれる中で、さらに沿岸の災害を引き起こす高潮や波浪の変化も懸念されています。これからの海岸防災対策に必要な最新の気候変動予測について説明します。京都の海岸はこれからどうなるのでしょうか。



洪水リスクとどう暮らすか

たなか ともひろ
田中 智大

社会防災研究部門 准教授

ニュース等で頻繁に見かけるようになった河川からの氾濫。まだ自分の身に起きていなくても「リスク」は確実に存在します。洪水リスクとその気候変動による変化を見える化する研究を紹介するとともに、私たちはどのように洪水リスクと共に暮らすことができるのかを考えたいと思います。



災害時、情報は私たちをどう助けるのか

ひろい けい
廣井 慧

巨大災害研究センター 准教授

災害時の情報は、危険を知らせるだけでなく、一人ひとりの判断を支える力になります。街で起きていることが、どのように情報となり、私たちに伝えられるのか。最新の情報科学の視点から、情報が防災行動を支えるしくみを考えます。



地域と育む防災力

なかの げんた
中野 元太

巨大災害研究センター 准教授

「地域の防災力を高める」って難しそうですが、よくよく考えてみると、あれもこれも防災活動と言えそう！そんな地域活動の事例を紹介します。地域でのちょっとした工夫で、地域活動に防災のエッセンスを加えてみませんか？

受講申込み

宇治会場 & オンライン ハイブリッド開催

イベントページ (<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/25023/> 右下の受講申込み二次元コード) から
受講登録をお願いします(先着順受付)。申込みの際に受講形式(会場/オンライン)をご選択ください。

申し込み期限 **9月8日火**

受講申込みはこちらから →



- 備考
- ・講義資料をイベントページに掲載します(9月初めを予定)。講義資料の印刷物は配布しません。
 - ・受講者へのご連絡事項(開催中止など)がある場合はイベントページに掲載します。
 - ・本公開講座の過去の講演動画を「京都大学防災研究所YouTubeチャンネル」からご覧になれます。